

## 県医師会理事会記事

### 平成26年度第21回常任理事会

(平成26年8月19日)

#### 平松会長 挨拶



皆さまこんばんは。今年の8月は鬱陶しい天気が毎日続いております。

2年前の平成24年8月はIPPNW世界大会を広島で開催いたしました。皆様のご協力のお陰で大変な盛況の内に大会を終えることができました。今年はカザフスタンのアスタナで8月27日(水)から開催され、われわれも8月24日(日)に日本を出発いたします。

今年の第21回IPPNW世界大会inカザフスタンにおきましても、いろんなセッションが準備されておりますが、今回は被爆者の証言がプログラムに見受けられません。われわれ広島の医師としては、核兵器廃絶の原点である原爆被爆者の証言は入れていただきたかったと思います。

私は平成16年の北京大会と、平成18年のフィンランド大会に参加したことがあります。フィンランド大会はかなり古い建物で開催され、北京大会も北京大学の看護学校の教室を利用した大会で、どちらも会場は質素でしたが内容は核兵器廃絶だけではなく多岐にわたり、冷戦構造から新時代へ向けた大会であった印象を持っております。そんな中でも北京大会では、われわれの先輩医師であり被爆者でもある方の証言講演がありました。

今回のプログラムは8月25日(月)の医学生会議から始まり、26日(火)には本部理事会と国際評議員会がありまして、27日(水)から開会式、基調講演があり、テーマごとの全体会議とワークショップが29日(金)の閉会式まで続きます。

IPPNW世界大会は毎回テーマがあり、われわれもそれに従って参加してまいりました。今大会の全体会議のテーマは、1番「核兵器の人的影響」、2番「公衆衛生危機としての武器を使用した暴力」、2日目の28日(木)には3番「セミパラチンスクでの核実験の生物医学的・生態学的影響」、4番「健康、環境、安全保障に対する核チェーンの影響」、そして最終日の29日(金)には、5番「核兵器廃絶に向けた政治的プロセス—ICANと核兵器禁止条約」、6番「IPPNWを前進させるエネルギーと創造性のマルチメディア祭典」というテーマであります。

このプログラムを見て、私の意識を高める意

味も含めて、核兵器廃絶の原点の1つでもあるジョン・ハーシーさんの書籍「ヒロシマ」(1949. 法政大学出版局 2003. 7月増補)を読みました。ジョン・ハーシーさんは従軍記者として1946年5月原爆投下後の広島を訪れています。そして、6人の被爆者から体験談を聞いて英文で週刊雑誌ニュー Yorkerなどに投稿されて、センセーショナルな反響を呼んだとのことで、これがひとつの引き金になり、アメリカにおける核兵器廃絶への平和運動が行われてきた歴史があります。

その文章は英文ですから、日本語に逆翻訳した本を私は偶然10年くらい前に買って読んだのですが少し紹介します。

この本は6人の被爆者が登場しますが、1人は日赤の外科部長であった佐々木輝文先生で、被爆後の治療活動を話されております。もう1人も医者で藤井正和先生は京橋川の京橋近くの開業医だそうで、診療所の一部は川の中までせり出して、つかえ棒で落ちないように支えた建物であったようですが、戦前の京橋川沿いには、そんな建物がずらっとありました。もう1人は有名な流川協会の谷本清牧師です。それからドイツ人のユリヘルム・クラインゾルゲ神父で、この方は日本に帰化されておられて、高倉誠という日本国民としての名前も持たれた三篠協会の方です。あとのお2人は、佐々木とし子さんと中村初代さんです。

非常に事細かに被爆体験を紹介した英文で、私はこれを読みながら思ったことは、以前も紹介しました長田新先生は京大出身で広島の教育学部の教授ですが、「原爆の子」という手記を取り纏められておられます。私も上・下2冊(2010. ワイド版岩波文庫)を持っておりまして、一応は読んだのですが、あまりにも悲惨で全部を読めませんでした。今は本棚の奥に納めています。

長田新さんの「原爆の子」は子どもたちが書いた手記の纏めですが、アメリカ人のジョン・ハーシーさんの「ヒロシマ」は、当時の原爆の状況を英文でアメリカ国民に発表したのです。このたびのIPPNW世界大会出席に際して、もう1度この2つの核兵器廃絶の原点を勉強しておこうと思い本を紐解いてみました。

ハーシーさんの本の中では原子爆弾をどう翻訳しているのかといいますと、Atomic Child bombと書いてありまして、原子爆弾と日本人には分かりやすい表現です。これが本当に通用していたか分かりません。この本の中にOriginal Child bombという表現もありました。

来週のIPPNW世界大会は元気で行ってまいります。本日もよろしくお祈りいたします。

## 協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (平川常任理事)  
8件、原案どおりすべて承認
- ・ひろしまドナーバンク平成26年度賛助会費納入の件 (水野常任理事)  
会費納入を承認
- ・広島県産業教育振興会平成26年度会費納入の件 (水野常任理事)  
会費納入を承認
- ・安芸学術講演会「アナフィラキシーでアワテナイために」補助金の件 (水野常任理事)  
補助を承認
- ・医師共済会休業見舞金支給の件 (水野常任理事)  
規定どおり支給を承認
- ・広島県産後早期ケア支援事業連絡会議委員の推薦の件 (温泉川常任理事)  
温泉川常任理事を推薦
- ・広島県社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童支援部会臨時委員の推薦の件 (温泉川常任理事)  
渡邊常任理事を推薦
- ・公衆衛生活動に優秀な成果をあげた地区組織等の表彰の推薦の件 (温泉川常任理事)  
会員を1名推薦
- ・広島県精神保健福祉審議会委員の推薦の件 (温泉川常任理事)  
平松会長を推薦
- ・第48回中国地区医療社会事業大会開会式の後援の件 (温泉川常任理事)  
後援を承認
- ・「骨と関節の日」整形外科講演会の後援の件 (温泉川常任理事)  
後援を承認
- ・「新老人の会」広島支部フォーラムの後援の件 (温泉川常任理事)  
後援を承認
- ・広島市医師会との合同理事会に係る提出議題の件 (温泉川常任理事)  
回答担当役員および回答原案を承認
- ・平成26年度複十字シール運動への協力の件 (温泉川常任理事)  
協力を承認
- ・広島県既存建築物防災週間における建築物定期報告普及啓発講習会への協力の件 (中西常任理事)  
協力を承認
- ・病床機能報告制度説明会の件(中西常任理事)  
開催を承認
- ・HMネットモバイル端末向けVPN導入の件 (牛尾常任理事)

- 導入を承認
- ・呉市医師会からの要望への対応の件 (平川・大谷常任理事)  
呉市医師会より、基本診療料(地域包括診療加算)の施設基準届出に必要な研修等の受講記録について要望があり、日医生涯教育の取得単位は整理し、日医に管理を要望することとした。
- ・平成26年度かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修の件 (大谷常任理事)  
研修を承認
- ・もみじ医のキャラクター登録査定の件 (小笠原常任理事)  
商標登録を承認
- ・役職員出張申請の件 (温泉川常任理事)  
原案を承認
- ・IPPNW世界大会の概算経費の件 (津谷常任理事)  
概算経費を承認
- ・中国四国厚生局の申出への対応の件 (大谷常任理事)  
継続審議

## 報告事項

- ・8月18日、広島大学医師会との懇談会 (平松会長)  
日医生涯教育講座および、新会館・高精度放射線治療センター(仮称)の進捗などについて報告・協議した。
- ・8月19日、新会館に関する広島県・監理者との検討会 (檜谷副会長)  
セキュリティ、新築工事業務の契約変更などについて協議した。
- ・高精度放射線治療センター(仮称)職員採用試験受験状況について (温泉川常任理事)  
7月27日(日)に一次試験(筆記)、8月10日(日)に二次試験(面接)を行った。
- ・委員会委員について (温泉川常任理事)  
産業医部会、母体保護法指定医師不服審査委員会、広島県医師会あり方検討委員会について承認
- ・ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)活動報告 (牛尾常任理事)  
ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)における8月12日から8月18日までの活動報告である。主な活動内容としては、岡山県「晴れやかネット」との接続において、井原市民病院を訪問し、HMネットの概要説明と参照環境の設置に向けて具体的な打合せを行った。